

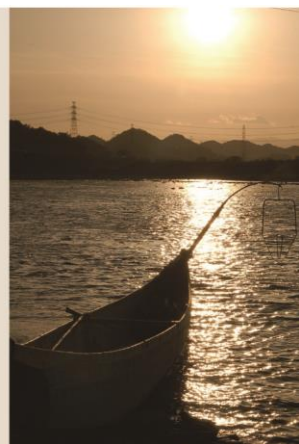


Rotary 

関ロータークラブ

2019-20年度国際ローターテーマ RI会長 マーク・ダニエル・マローニー
『ローター：ローターは世界をつなぐ ROTARY:ROTARY CONNECTS THE WORLD』
2019-20年度 関ロータークラブ会長 テーマ
～私ができる社会貢献をしよう～ 54代会長 土屋佳久

■会長 土屋佳久 ■副会長 木村 聡 ■幹事 尾崎嘉彦
白田龍司



■例会：火曜日 12:30

■例会場：関市本町 6-20 大垣共立銀行関支店 2F

■事務局：関市平和通 7-10-25 アメリカ 2F

本日のプログラム 第 2571 回例会 2020 年 6 月 16 日(火)



「会長エレクト研修セミナーの報告」

会長エレクト 木村聡さん



前例会の記録・第 2570 回 2 月 18 日(火)12:30

「～キセキを未来へ～副市長に就任して」

関市 副市長 山下清司様

◆「君が代」「奉仕の理想」斉唱

◆副会長挨拶 木村聡



本日は土屋会長がお休みを頂きましたので、代理で副会長の私がご挨拶させていただきます。

本日のお客様は新しく関市の副市長に就任された山下清司（きよし）様です。大変ご多用の中を当クラブにお越しいただきまして、

誠に有難うございます。後ほど「～キセキを未来へ～副市長に就任して」というテーマで卓話をさせていただきますので、楽しみにしてください。

さて近頃特に感じるのが、コミュニケーション能力の大切さです。古代ギリシアの哲学者アリストテレスは「人間は社会的動物」と書き記しています。実際の深い解釈は別として、文字からだけでも人間にとって社会性というものが不可欠であることがわかります。この社会の中で生きていくにあたって、最も大切なものの一つがコミュニケーションだと思います。少し前はTV、最近ではインターネットやスマホの普及により、他人と絡むことなく長時間を過ごすことができ、人と会話をする機会が減っています。合わせて活字離れが進み、本を読まない人が増加しており、2006年に14,555店あった書店が、2018年には9,692店と2/3にまで減少しているそうです（総坪数82.5万坪→95.7万坪）。コミュニケーションには「話す」、「聞く」、そして「書く」、「読

む」などの要素があり、これらの能力を自然に育むのには、あまりに弊害が大きいように思います。私の身の回りでも大体人間関係のトラブルを引き起こすのは、決まってコミュニケーションが下手な人です。人間性が悪いわけではないのに、トラブルになる。なんと勿体ないことか。長い時間をかけて育むものなので、いい歳になってから指摘されてもなかなか直すこともできない。やはり子供の頃から人と交わったり、本を読んだりするなど、基本的なことを着実にやるのが大切なんだろうと思います。教育現場において、ご苦労されてはいるようですが、もっと真剣に取り組んでもらいたい課題だと思います。

人間という生き物は、本当に良いもんだなあと思う時と、一方で本当に厄介だなあと思う時があると思います。しかし我々は一人では生きてゆけないことを前提に考えると、如何に良いもんだなあと思える時を多くできるかが重要だと思います。人と人との間を繋ぐのがコミュニケーションである以上、この能力を磨き続けることは一層重要になってきているのだと思います。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員長 山田一成
会員 50 名中 出席 25 名 出席率 43.75%

◎ニコボックス委員会 委員 加藤浩二
会長・副会長・幹事の皆さん・・・本日は、関市 副市長 山下清司様 お忙しい中、ようこそ関ロータークラブへお越しく下さいました。関市政のお話等よろしくお祈りします。

高井昭裕さん・・・旭ヶ丘中学校 バスケット部先輩の山下副市長様には、ご多忙の中、卓話をご

快諾いただき誠にありがとうございます。どうぞ
よろしく願いいたします。

杉浦、林(昇)、長尾、堀部の皆さん・・・関市 副市長
山下清司様 関ロータリークラブへようこそ。お話、期待しています。

後藤信介さん・・・関市 副市長 山下清司様
副市長就任おめでとうございます。農業行政から
関市全体の行政となり、手腕を期待しています。

林(隆)、藤井、大岩、伊佐治(啓)、奥村の皆さん・・・加藤照彦さん、おいしい料理と、ノンアルコール、そして楽しい時間をありがとうございました。

◆幹事報告

◎3月の例会予定表配布

◎次年度委員会構成表配布

◆「～キセキを未来へ～副市長に就任して」

関市 副市長 山下清司様



11月の1日から副市長に就任しました山下清司でございます。日頃は関市政にご協力いただきありがとうございます。拙い話ですけれどもお付き合いいただけたらと思います。経歴を見ていただくと分かる通り役所の40年近い年数の中で半分が農政に携わっておりまして、そんな中で担当としてやっていた頃に出合ったのが「さんやほうサポートクラブ」というのがございます。農薬、化学肥料を使わずに関市の特産米「みのにしき」を栽培し、関市の地酒「さんやほう」の醸造用に出荷します。子どもたちを対象に、田植え、稲刈りの農業体験を行うと共に、田んぼの生き物調査も実施します。今季は、お米約3トンを収穫し、約3600リットルの純米吟醸酒を美濃市の小坂酒造さんで造っていただきました。

1. 現職中の印象的な仕事

◇地域委員会の立ち上げ(地域振興計画)

【地域委員会】

・それぞれの地域の特性をいかして住民主体の地域づくりを行う組織

・地域課題の解決に向けた地域委員会の活動に対して交付金や職員を派遣

☆板取地域、上之保地域での立ち上げに注力

現在は、

・市内14地域で活動中(※1地域が準備会)

・活動例→独自のホームページ運営、広報紙発行
集会場管理、公園管理など

◇ビジネスプラス展inSEKI

・企業の優れた技術力や高品質な製品づくりなどを発表する場を提供

・業務の提携、取引の活性化、雇用確保の推進を支援

・技術力のさらなる向上と製品の販路拡大を支援

◇関の工場参観日

・事業所の工場を開放し、工場見学やワークショップを通して、企業の高い技術力やものづくりの現場を体感

・企業従業員が働く喜びや誇りを改めて実感

・企業や関市に対する市民の愛着や誇りを醸成

◇関市公共施設再配置計画

・毎年35億円以上の更新費用が必要との試算

・合併により類似施設を所有、地形的特徴

・人口減少、少子高齢化の進行

・財源縮小、社会保障費の増大

・平成28年3月計画策定

・計画期間2016年度～2063年度(約50年間)

・基本計画

①公共施設の果たす役割の明確化

②公共施設総量の削減

③地域特性を踏まえた施設整備

④適切な維持管理・マネジメントの実施

⑤市民との協働

⑥財源確保・コストの圧縮

◇都市計画税(武芸川地域)の見直し

【都市計画税】

・道路、公園、下水道設備などの都市計画事業または土地区画整理事業に要する費用に充てるための目的税「関市都市計画税条例」・附則第12項武芸川町の編入に伴う都市計画税の特例・・・、当分の間、都市計画税を課さない。

・行財政改革の取組項目に位置付け

・住民説明会、事業所説明会の開催

「都市計画地域である武芸川地域にも都市計画税を課税」(平成30年4月1日～施行)

◇刃物と鶉飼のまち・せき どぶろく特区

第46回構造改革特別区域計画 認定!

(平成30年12月20日)

・関市で育種された特産米の「みのにしき」を原料とした「どぶろく」を製造

・魅力的で個性的な食文化で新たな観光資源創出

・「刃物と鶉飼のまちづくり」と連携して昼夜一貫の滞在型観光のまちづくり

・都市住民との交流増加による地域産物の消費拡大、地域の活性化

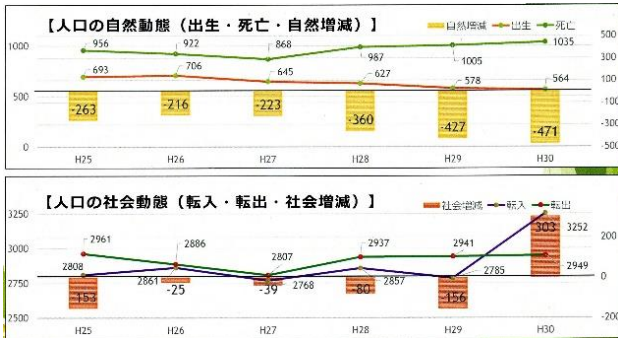
2. 関市の現状

◇①関市の人口推移と推計

2020年（令和2）年
 総人口 86,721人
 0～14歳 10,830人 13%
 15～64歳 49,747人 57%
 65歳～ 26,144人 30%

2040年（令和22）年
 総人口 73,075人 ▲13,646人
 0～14歳 7,900人 11%
 15～64歳 38,624人 53%
 65歳～ 26,551人 36%

◇②関市の自然動態と社会動態の状況



2013（平成25）年～2018（平成30）年

◇③関市の高齢化率

■日本の高齢化率＝28.4%
 （令和1.9.15現在、総務省統計局）
 ⇒全国平均を上回るスピードで関市の高齢化
 （29.5%）が進んでいる

■超高齢社会＝高齢化率（65歳以上の高齢者が占める割合）が21%を超えた社会（WHOによる定義）
 ⇒関市全体は平成21年からすでに超高齢社会
 令和元年12月時点では、すべての地域が超高齢社会。
 2045年には関市の高齢化率が40%を超える!!

関市第5次総合計画（2018～2027）

3. 令和2年度のトピック

①市民参加の“市制70周年・合併15周年記念事業”

- ◎記念ロゴマーク決定！
- ・記念ロゴマークやキャッチフレーズで機運醸成
- ・市民提案のイベント
- ◎“70”の記念事業を企画・開催
- ・戦国甲子園、記念コンサートなど
- ・関市にゆかりのある文化人を招いてイベントなど
- ・子供から高齢者まで広く参加可能、市内全域で

②「刃物ミュージアム回廊」拠点施設整備

整備コンセプト

「刃物のまち・自然と文化の散策回廊」

③2020東京オリ・パラコートジボワールのホストタウン

- ◎陸上競技の練習会場として
- ・岐阜市と共同でホストタウンに

- ・中池陸上競技場で事前練習
- ・コートジボワールの文化に触れる機会
- ◎オリンピック選手村に地元産材
- ・選手村のビレッジプラザの建設に関市産の木材を供給
- ・使用した木材はレガシーとして再活用

④ねんりんピック岐阜2020

（第33回全国健康福祉祭ぎふ大会）

◎テーマ：清流に輝けひろがれ長寿の輪

◎会期：2020年10月31日～11月3日

◎参加予定人数：延べ約60万人

・60歳以上の方々を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典

・昭和63年に兵庫県で第1回大会開催以来、毎年開催

・スポーツ・文化交流大会には全国から約1万人の選手・役員が参加

【大会目標】

- ①東京オリンピック・パラリンピックを契機とした「スポーツ・文化の振興」につなげる大会
 - ②「健康長寿」の素晴らしさを確かめ合う大会
 - ③「地域共生社会」実現の契機となる大会
- ・県内42市町村で総計63種目が開催

4. 副市長としての3つの信念

- I 現場（地域・市役所内各職場）の声を聴く
 - ・市民のみなさまのニーズをつかむ努力をします
 - ・職員との意思疎通を十分に図り、各種事業の進捗管理を図ります
- II 変化を恐れない
 - ・持続可能な関市にするため、必要な事業を創るとともに既存事業を見直します
 - ・変化を恐れず、挑戦していきたい
- III スピードとタイミングを大切に
 - ・急いすべきことと、慎重にすべきことを仕分けて取り組みます
 - ・時を逃さず、事業などに着手することを「～キセキを未来へ～市政70周年からその先の10年 さらにその先へ」誠心誠意、副市長の職務を全うします。本日はご清聴いただきありがとうございました。

※紙面の都合上、一部割愛させていただきました

◆6月ゴルフ会

日時：2020年6月7日

10：20スタート

場所：岐阜関C.C

東コース

優勝：藤井淳さん



次例会のご案内 6月23日（火）12：30
 「岐阜県から見た関市」 於：関市文化会館
 岐阜県議会委員 尾藤義昭様